

中部Ⅱブロック
地域の未来についての懇談会
(通算第125回)



| | |
|------|----------------------|
| 開催日 | 平成30年1月23日(火) |
| 開催時間 | 午後6時30分～午後8時30分 |
| 会場 | はぐくみセンター 8階多目的講座室 |
| 参加者 | 31名 |

| 意見・質問等 | 市側の発言 |
|---|---|
| 1. コミュニティ・スクールに関し、地域と連携するということについて、学校の先生方がどの程度理解されているかについて | 1. コミュニティ・スクールは、地域の子どもたちをどんなふう育てるのかを学校と地域が協議して、目標を共有する制度であり、それを推進するために学校の先生方も十分理解する必要があるが、まだ市全体としては緒についたところなので、先生方の理解の足りないところもあると思うが、進めていきたい。 |
| 2. 防災について、独居高齢者の方や体の動きにくい方、認知症の方、外国人観光客等に安全に避難していただくための方策について | 2. 要援護者の方の避難については、一定の制度やルールがあるが、まだまだ課題が多い。来年度からはコーディネーターが地域の福祉課題をくみ上げていきたい。外国人観光客については、県では猿沢インを避難所に指定されているが、決して十分ではない。日本語がわからない外国人の方もいるというシミュレーションでの防災訓練も実施しているが、さらに取り組みを進めていきたい。 |
| 3. どのように東京方面から観光客を誘致していくかについて | 3. 京都から30分か40分で奈良に来られるのに、奈良はイメージ距離が遠いというのが課題である。新幹線を利用する場合も、京都で降りるべきか大阪まで行った方がいいのかというのも、わかりにくい。観光協会を通していろんなエージェントと連携した商品開発をしているほか、業務委託により関東周辺の学校に修学旅行誘致をしている。東京での奈良の紹介は結構されているが、引き続き頑張っていきたい。 |
| 4. 同居二世帯住宅を促進する施策について | 4. 市では定住される方を増やすために、近居・同居される場合の住宅のリフォームに対する補助金制度を設けて、二世帯・三世帯同居をバックアップしているので、結構利用されている。 |

5. 地域の連携、支え合いに関して、市がされる具体的政策について

6. 明治時代以降、日本では小学校が地域の文化の1つの中心になっており、地域自治協議会も小学校区単位でつくられるので、コミュニティ・スクールも小学校にベースを置いて、そこからつくるべきではないか。

7. 市役所の西に菰川があるが、暗渠にして、上はサクラなどを植えて観光客が遊べるようにし、水は適量に流して、増水時は調整ができ、災害時には水が使えるようにすればどうか。(要望のみ)

8. 身寄りのないひとり暮らし高齢者の方や認知症の方がどんどん増えているので、医療関係者の方にその現実をわかっていただき、丁寧にみてあげてほしいことについて

9. 困っている高齢者の方がおられるときに、医療関係者や包括支援センター、民生委員、自治会長、医療機関、介護施設等が連携していくことが大事だと思うが、市の指導について

5. 地域の連携を市としてどうやって具体的に支えるかというのは、大変重要な問題である。すべて行政で補うのは無理であることは十分認識していただいていると思う。昔のように介護をすべて家でやりなさいというのも、核家族化しており女性の就業率も上がっていて、できないので、何かの行政の手当てが要る。子育て支援、予防医療、介護、健康寿命を延ばすための支援等がある。地域自治協議会に限れば、財政的な援助ももちろんあるが、皆さんが集まれる拠点の確保も支援になる。地域により事情が異なるので、何が一番の支援になるのか、市も一緒に考えていきたい。

6. コミュニティ・スクールを小学校区単位で立ち上げたかどうかというご意見を、市内あちこちでいただいている。法律の改正があり、中学校単位に広げて行うように努力義務化されたので、中学校という提案をしたが、小学校区の方が地域のつながりが深いではないか等、様々な意見を聴取しながら、丁寧に議論をしていきたい。

8. 医療関係者の方の認知症の理解はかなり深まってきたが、そういう高齢者にどのように接すれば一番良いか、もっと介護関係者との交流が図れるようにしていきたい。早くから相談対応可能な窓口が必要ということで、来年度から相談窓口を設置していきたい。

9. 例えば児童虐待の通告があると、学校も含めていろいろな専門家が入りチームでケース会議を持ち、ケースを追いかけて管理している。難易度の高いケースがあれば、医療・介護の多職種連携でケースとして管理できる体制をつくっていくというのが理想である。民生委員が中へ入りきれないときに受けられるような体制づくりが重要であると感じたので、協議して体制をとっていきたい。